

# 創薬共同研究 募集プログラムのご案内

Partnership to Realize Innovative Seeds and Medicines

募集期間 2016年6月1日(水)10時~6月30日(木)17時



くすりのこれから、わたしたちとともに



Partnership to Realize Innovative Seeds and Medicines

大日本住友製薬株式会社は、国内の大学や研究機関、  
企業の皆様との協業による医薬品の研究開発を促進するため、  
公募型オープンイノベーションプログラム「PRISM」を2015年度より実施しております。

## PRISM —Partnership to Realize Innovative Seeds and Medicines— とは

PRISMは、オープンイノベーション活動の1つとして、弊社の創薬研究ニーズとマッチするような研究アイデアを募集する公募型プログラムです。

本プログラムは、共同研究等を通じて応募者の皆様の独創的なアイデアを具体化し、弊社と共により早く新薬を創出することを目標としています。そのため、PRISMで募集するテーマの中には、弊社が保有する低分子化合物ライブラリの活用や弊社化合物の新規適応疾患の創出など医薬品創生を強く意識したテーマも含んでおります。

## PRISMの特徴

### 1. 弊社所有の化合物ライブラリを提供いたします

募集グループ1（新規創薬シーズの探索/検証）に応募された皆様が弊社の化合物等の提供を希望される場合、評価試験に適した低分子化合物ライブラリを提供いたします。

- 化合物ライブラリはDrug-likeな低分子化合物で弊社オリジナルの未公開化合物を含む
- 最大提供化合物数は10,000化合物

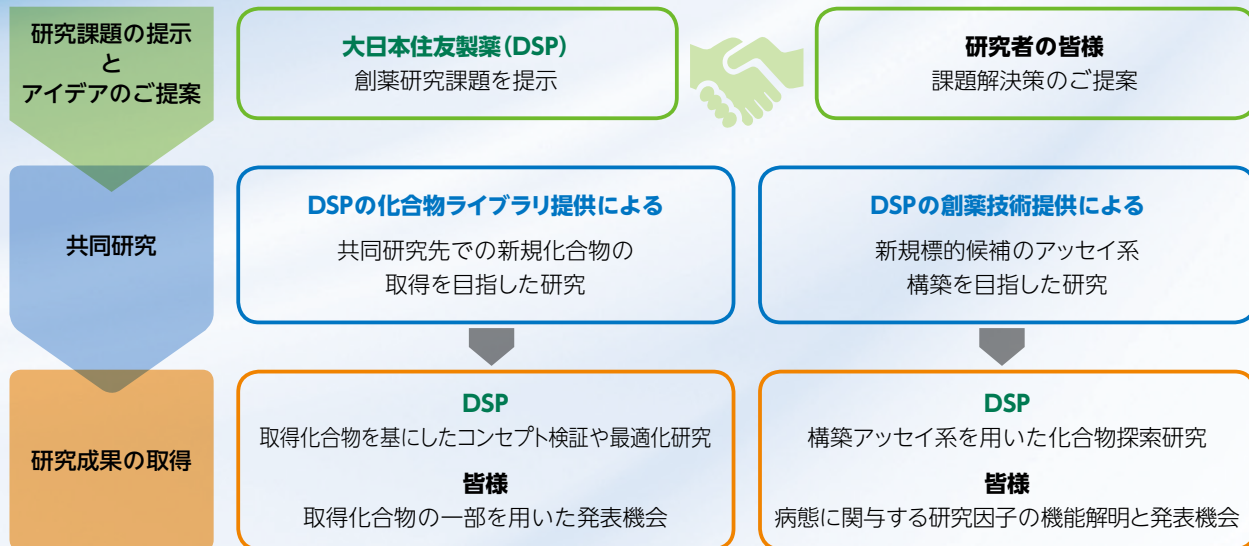
### 2. 評価技術を提供いたします

PRISMの共同研究期間中に、評価技術面における課題が生じた場合、弊社の評価技術や弊社専門研究員のアドバイスを提供いたします。

### 3. Win-Winの共同研究を目指します

応募者の皆様の共同研究に対する希望はそれぞれ異なります。そのため、PRISMの共同研究を実施するに当たり、案件ごとに、研究内容・計画のみならず公表の条件、知的財産の取扱いなどを協議し、共同研究契約を締結の上、Win-Winとなる共同研究の実施を目指します。

### 多彩なWin-Winの形をもつ共同研究のイメージ例





## PRISMの概要

応募対象者	日本国内の大学や研究機関、企業等に所属する研究者で、応募内容の研究を日本国内で遂行可能な方。 ※外部発表・学内発表等を優先しなければならない大学院生などの応募はご遠慮ください。
募集グループ	<b>弊社が提示する創薬シーズの探索/妥当性検証や創薬研究ニーズの課題解決などを目指したアイデアを募集いたします。</b> グループ1：新規創薬シーズの探索/検証 グループ2：創薬研究ニーズの課題解決 グループ3：弊社が保有する化合物の新規適応疾患の創出
研究費・研究期間	最大500万円/案件/年 原則1年間 ※研究計画によって研究期間を短縮・延長することがあります。 また、PRISMでの共同研究期間終了後、研究成果に応じて共同研究を継続させていただく場合がございます。
スケジュール	募集期間： <b>2016年6月1日(水) 10時～2016年6月30日(木) 17時</b> 弊社[PRISM]ウェブサイトの応募フォームよりご応募ください。 <a href="http://www.ds-pharma.co.jp/prism/agreement/">http://www.ds-pharma.co.jp/prism/agreement/</a>  2次選考期間： <b>2016年8月20日(土)～2016年10月31日(月)</b> 共同研究計画の策定に必要な情報を開示いただいた後、面談を実施させていただきます。  共同研究の開始：共同研究契約締結後、順次開始いたします。
選考結果	1次選考結果：2016年8月19日(金)までに応募者にe-mailにてご連絡いたします。 2次選考結果：2016年10月31日(月)までに応募者にe-mailにてご連絡いたします。 なお、採択件数等については、弊社[PRISM]ウェブサイトで公開させていただく予定です。
選考基準	募集テーマとのマッチング、弊社の創薬研究プロジェクトとのコンフリクト、研究内容の独創性や有用性、研究計画の実現性(研究期間、必要な研究費など)、産業応用性などを総合的に判断し採択案件を決定いたします。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"><li>● 応募の際は、非機密情報のみの記入をお願いいたします。なお、2次選考の際は、必要に応じて秘密保持契約書を締結させていただきます。</li><li>● 2次選考時および共同研究契約書作成時に、応募者と弊社にて研究内容、研究計画を策定いたします。その際に、創薬の観点より応募時の研究内容から変更させていただく場合がございます。</li><li>● 官民などと共同/委託研究、助成研究などを行っている研究内容は、採択をお断りさせていただく場合がございます。また、他社と共同研究を実施している研究内容は、採択をいたしません。</li><li>● 共同研究契約書は応募者の所属する機関と弊社にて締結させていただきます。</li><li>● 臨床サンプルを用いた研究計画については、2次選考時に、ヒト組織研究倫理審査申請書、計画書、同意説明書などの記載内容、申請状況などを確認させていただきます。</li><li>● 共同研究費の支払いについては、弊社の「医療機関等との連携における透明性に関する指針」(<a href="http://www.ds-pharma.co.jp/">http://www.ds-pharma.co.jp/</a>)に基づき、弊社のウェブサイトを通じて公開することに同意いただきます。</li></ul>
お問い合わせ	弊社[PRISM]ウェブサイトのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。 <a href="https://www.ds-pharma.co.jp/prism/contact/">https://www.ds-pharma.co.jp/prism/contact/</a>
個人情報・個人番号の保護	弊社の「個人情報・個人番号の保護について」は以下のサイトでご確認ください。 <a href="http://www.ds-pharma.co.jp/privacy/">http://www.ds-pharma.co.jp/privacy/</a>

# 募集テーマ

募集グループ	募集テーマ
<b>グループ1： 新規創薬シーズの 探索/検証</b> ※必要に応じて弊社から創 薬基盤技術(化合物ライ ブラリ)を提供いたします	<b>1-A RNAに結合する低分子化合物のハイスループットスクリーニング技術を用いた創薬探索研究</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 疾患に特徴的なRNAに結合する低分子化合物を、簡便にスクリーニングできる技術を必須とする</li><li>● 当該技術を用いて弊社が提供する化合物ライブラリ(数千点以上)をスクリーニングできる提案を優先的に採択する。なお、当該技術を用いたスクリーニングにより既にリード物質などを取得済みの場合であれば、その物質に関する研究提案についても優先的に採択する</li><li>● 対象疾患としては、治療満足度の低い疾患とする</li></ul> <b>1-B 神経伝達物質輸送に関わるトランスポーターの直接活性化作用を有する物質、あるいはin vitro評価技術</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 直接活性化作用を有する物質：合成展開可能な化合物を優先的に採択するが、天然物あるいはペプチドなども採択対象とする なお、トランスポーター自体の発現を増加させるものや、リン酸化によるトランスポーター活性を調節する提案については採択対象外とする</li><li>● in vitro評価技術：直接活性化を生理的条件に近い環境で評価可能なアッセイ技術を優先的に採択する</li></ul> <b>1-C 遅筋の機能を亢進させる創薬シーズ、あるいはin vitro評価技術</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 創薬シーズ：創薬標的分子、合成展開可能な化合物や天然物あるいはペプチド<ul style="list-style-type: none"><li>－ 化合物・天然物・ペプチドは、遅筋に対して選択的に作用するものを優先的に採択する</li><li>－ 創薬標的分子は、遅筋に選択的かつ動物モデルあるいはヒトにおいてその機能が検証済みのものを優先的に採択する</li></ul></li><li>● in vitro評価系：遅筋としての機能や特徴を有している細胞を用いて、一度に大量のサンプルを評価することが可能な技術を募集する</li></ul> <b>1-D 骨格筋のin vitro筋管収縮を指標とした評価技術</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 機能的に成熟した筋管を用いた筋収縮評価技術を募集する なお、ヒト細胞を用いた技術や安静臥床に伴う筋力低下を反映できるアイデアを含む提案を優先的に採択する</li><li>● 評価系として既に構築済みであり、一度に大量のサンプルを評価可能な技術を優先的に採択する</li></ul>
<b>グループ2： 創薬研究ニーズの 課題解決</b>	<b>2-A シナプスの機能をin vivoもしくはex vivoで定量的に評価できる新規技術</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 病態時や薬剤投与時において、シナプスの機能的変化を定量評価できる技術や評価系を募集する</li><li>● 精神神経疾患に関わりの深い脳部位で評価できる技術を優先的に採択する</li></ul> <b>2-B 新規高感度Cl(クロライド)イオンプローブ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 既存技術と比較して、より簡便かつ高感度であるプローブを募集する</li><li>● ケミカルプローブを優先的に採択するが、タンパク質プローブでも汎用性が高いものであれば採択対象とする</li><li>● in vitroでの使用だけでなく、ex vivoおよびin vivoでも使用可能なプローブを優先的に採択する</li></ul> <b>2-C 線維芽細胞から神経系細胞*への簡便な直接分化誘導法</b> <p>※神経変性疾患に関与する神経系細胞(運動神経、アストロサイト、線条体中型有棘神経、中脳黒質ドパミン神経、DRG神経など)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 線維芽細胞から一旦iPS細胞を作製し、その後神経系細胞へ分化させる方法は採択対象外とする</li></ul> <b>2-D 生体メカニズムを利用した高分子の腸管膜あるいはBBB透過技術</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 分子量100kDa程度の生体高分子(抗体や酵素など)を腸管より吸収、あるいはBBBを透過させることができる技術を募集する</li><li>● 対象とする分子の生理活性が保持されていることが担保できている技術を優先的に採択する</li><li>● ただし、細胞障害を伴う技術は採択対象外とする</li></ul> <b>2-E 生体高分子を腸管パイエル板M細胞へ送達し効率的に免疫誘導を起こす技術</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 経口投与可能な粘膜ワクチン製剤の開発を目的とし、腸管免疫誘導に関する基盤技術を募集する</li><li>● 腸内での腸管パイエル板M細胞へのタンパク質デリバリー技術または効率的な免疫誘導を起こす技術(アジュバントなど)を採択の対象とする</li><li>● 口腔内から腸管までのデリバリー技術は採択対象外とする</li></ul>
<b>グループ3： 弊社が保有する 化合物の新規適応 疾患の創出</b> ※弊社よりTRPV1アゴニス ト作用を有する化合物を 提供いたします	<b>3-A 新規低刺激性TRPV1アゴニストの対象疾患あるいは適応症の探索</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 独自性が高く、臨床へのトランスレーションが期待できるような研究を優先する</li><li>● 非臨床(in vivo)薬理試験にて検証可能なアイデアを優先する</li><li>● なお、対象疾患/適応症は疼痛領域以外を対象領域とする</li></ul>

## お問い合わせ

弊社「PRISM」ウェブサイトのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

<https://www.ds-pharma.co.jp/prism/contact/>